

令和5年9月定例会 文教厚生委員会（事前）

令和5年9月11日（月）

〔委員会の概要 教育委員会関係〕

元木委員長

休憩前に引き続き、委員会を開会いたします。（13時02分）

これより教育委員会関係の調査を行います。

この際、教育委員会関係の9月定例会提出予定議案等について理事者側から説明を願うとともに、報告事項があればこれを受けることといたします。

【提出予定議案】（説明資料（その2））

- 議案第2号 令和5年度徳島県一般会計補正予算（第4号）
- 議案第13号 徳島県立高等学校総合寄宿舎の設置及び管理に関する条例等の一部改正について

【報告事項】

- 教育委員会の点検・評価について（資料1）
- 県立高等学校及び県立中等教育学校後期課程における令和6年度使用高等学校用教科用図書採択結果の概要について（資料2-1、資料2-2）
- 徳島県立国府支援学校校舎棟新築工事のうち建築工事の請負契約について  
（資料3）
- 徳島教育大綱（素案）の概要について（資料4-1、資料4-2）

榊教育長

9月定例会県議会に提出を予定いたしております教育委員会関係の議案等につきまして、御説明申し上げます。

今回、御審議いただきます案件は、令和5年度9月補正予算案、繰越明許費、条例案でございます。

それでは、文教厚生委員会説明資料（その2）の3ページを御覧ください。

歳入歳出予算の総括表でございます。

教育委員会全体の一般会計補正予算額といたしまして、表の最下段の計の欄に記載のとおり2億9,638万円の増額補正をお願いいたしております。

この結果、令和5年度一般会計の予算総額は803億145万8,000円となっております。

なお、各課別の補正額及び財源内訳につきましては表に記載のとおりでございます。

続きまして、5ページを御覧ください。

課別の主要事項でございますが、主なものにつきまして御説明を申し上げます。

まず、施設整備課でございます。

高等学校費学校建設費の①高校施設整備事業費といたしまして、アの県立学校施設防災機能強化事業では、教育環境の充実はもとより災害時の安心、快適な避難所としても活用できるように、学校施設の機能強化を図るためトイレの洋式化率100パーセントに向けた改

修設計や、体育館における空調の整備及び照明のLED化に要する経費として2億3,600万円を計上いたしており、その他経費を合わせた施設整備課の補正予算総額は2億8,600万円となっております。

続きまして、6ページを御覧ください。

学校教育課でございます。

計画調査費の①地方創生の深化のための支援費及び教育指導費の①学校教育振興費といたしまして、アのGlobal×Challengeプロジェクトでは、徳島と世界をつなぐグローバル人材の育成を一層進めるため、児童生徒が徳島の魅力を題材に外国の人々と英語で交流する機会の創出などに要する経費として、合わせて300万円を計上いたしております。

また、イのうちの学校ええんじょプロジェクトでは、県立高等学校等の生徒自らが課題を設定し、解決策を探る探究活動をより深化させるため、産官学等の幅広い協力者とのネットワーク構築などに要する経費として合わせて738万円を計上いたしております。

続きまして、7ページでございます。

繰越明許費についてでございます。

施設整備課における高校施設整備事業費では県立学校施設防災機能強化事業や長寿命化推進事業などにおきまして繰越予定額17億7,155万3,000円を、特別支援学校施設整備事業費では繰越予定額3,340万1,000円を、県立学校施設災害復旧事業費では繰越予定額5,000万円をそれぞれお願いするものでございます。

続きまして、8ページを御覧ください。

条例案といたしまして、アの徳島県立高等学校総合寄宿舎の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例についてでございます。

県立阿南寮に舎室を個室とする新棟を増設することに伴い、個室に係る使用料の額を定める等の改正を行うものでございます。

施行期日は竣工し、入寮可能となる日程に併せて、規則で定めることといたしております。

以上が今議会に提出を予定いたしております案件でございます。

続きまして、教育委員会に関する事項について4点、御報告申し上げます。

1点目は、教育委員会の点検・評価についてでございます。

教育委員会の点検・評価につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、学識経験者の知見を活用し、教育委員会の権限に属する事務の管理、執行状況について点検、評価を行っているものでございます。

今年度は、令和4年度の事務の管理、執行状況について点検、評価を行い、資料1、教育委員会の点検・評価として取りまとめ、去る9月4日に県議会議長宛てに提出いたしましたので、その概要につきまして御説明させていただきます。

資料の7ページを御覧ください。

教育委員会の活動報告といたしましては、教育委員会の組織、会議等の開催状況、続いて、8ページに移りまして、その他の活動につきまして記載しております。

次に、11ページを御覧ください。

点検・評価項目の実績値等の一覧表でございます。

令和4年度に実施した徳島県教育振興計画（第3期）における180項目の重点事業について点検、評価を行い、令和4年度の目標値に対する実績値等を19ページにかけて記載しております。

また、20ページからは新型コロナウイルス感染症の影響のあった事業等を23ページにかけて記載しております。

次に、27ページでございます。

点検・評価の概要でございます。

三つの重点項目ごとに、令和4年度の実績状況を踏まえた評価及び今後の主な取組と方向性などを42ページにかけて記載しております。

最後に、45ページを御覧ください。

重点事業の点検・評価結果でございます。

重点事業ごとに成果指標の進捗状況等を記載するとともに、取組状況を踏まえた評価、今後の取組及び方向性などを159ページにかけて記載しております。

2点目は、県立高等学校及び県立中等教育学校後期課程における令和6年度使用高等学校用教科用図書採択結果の概要についてでございます。

資料2-1と資料2-2がございますが、資料2-1で御説明させていただきます。

教科用図書の採択につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条第6号に基づき、各学校を所管する教育委員会が採択を行うこととされております。

県教育委員会では、徳島県教育委員会の権限に属する事務の委任等に関する規則第2条に基づき、去る8月28日、教育委員会会議第10回定例会において教科用図書採択を決定いたしました。

採択した教科書は、各県立高等学校及び県立中等教育学校後期課程から提出されました採択希望一覧表を基に、高等学校用教科書目録令和6年度使用の第1部及び第2部に登載された教科書全1,095種類のうち488種類、また、学校教育法附則第9条に規定する教科用図書52種類でございます。

県教育委員会といたしましては、今後とも関係法令の規定により十分な調査研究に基づき、適正かつ公正な教科用図書採択を実施してまいります。

3点目でございます。

徳島県立国府支援学校校舎棟新築工事のうち建築工事の請負契約についてでございます。

資料3を御覧ください。

一般競争入札により資料記載の共同企業体が落札いたしましたので、御報告させていただきます。

本契約につきましては、御承認をお願いする議案を県土整備部から提出する予定でございます。

4点目でございます。

徳島教育大綱（素案）の概要についてでございます。

本県教育行政の指針であります徳島教育大綱につきましては、昨年度をもって4年間の推進期間を終えたことから、次期大綱の策定に向け政策創造部と連携、協力を図り、2月定例県議会の文教厚生委員会において、今後4年間の新たな指針となる大綱の骨子案を御

説明させていただき、御論議いただいたところでございます。

さらに、先月実施いたしました県民目安箱、今これ！とくしまボックスでの意見募集や、去る8月31日に開催いたしました総合教育会議において県民や教育委員の皆様から頂きました御意見、御提言を踏まえまして、大綱素案として取りまとめいたしましたので、御説明させていただきます。

資料4-1を御覧ください。

まず、1の策定の趣旨ですが、知事と教育委員会が緊密に連携し、徳島の教育力を結集させた、新しい時代の教育の方針を示すために策定するといったしております。

2の推進期間は、令和5年度から8年度までの4年間といったしております。

3の基本方針及び人財の具体像では、基本方針を、個性と国際性に富み、夢と志あふれる「人財」の育成とし、人財の具体像は、①果敢に挑戦する人財、②新たな価値を共創する人財、③地域のために行動する人財といったしております。

4の重点項目は、本県教育の目指す人財育成に向けて、重点的に取り組むべき教育施策の方向性を六つの柱として取りまとめたものでございます。

5の今後のスケジュールでございますが、並行して策定を進めております第4期徳島県教育振興計画と進捗を合わせるとともに、今後、議会での御論議をはじめ、総合教育会議やパブリックコメントなどを通じ、多様な御意見、御提言を踏まえまして、来年3月の策定を目指してまいりたいと考えております。

なお、大綱素案につきましては、資料4-2として添付いたしております。

報告は以上でございます。

御審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

元木委員長

以上で説明等は終わりました。

これより質疑に入ります。

それでは、質疑をどうぞ。

岸本委員

学校施設防災機能強化事業について、お伺いさせていただきます。

まず、事業の中身をもう少し詳しく教えていただきたいと思う点と、現在のトイレの洋式化の進捗状況と、また、体育館の空調の取組は現状どうなっているか教えていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

河野施設整備課長

学校の環境整備の現状について御質問いただいております。

現在、県立学校トイレの洋式化率の現状としましては、避難所となる県立学校体育館のトイレ洋式化につきましては、令和2年度に洋式化率100パーセントという状態でございますけれども、校舎トイレ等を含めた学校トイレの洋式化率につきましては、令和5年4月1日時点で約54パーセントという状況でございます。

空調設備の設置状況についてでございますけれども、現在のところ体育館の空調設備に

つきましては4施設に設置されているという状況でございます。

岸本委員

この予算でトイレであったり空調の改修はどこまで進むのかという点と、また100パーセントの改修に向けて今後の見通しはどうか、教えていただきたいと思えます。

河野施設整備課長

今回の補正予算の分につきまして、今後どのように進んでいくのかという御質問を頂いたかと思えます。

県立学校トイレの環境改善につきましては、先ほどお話しさせていただきましたように、学校トイレ洋式化が約54パーセントという状況ですので、今回補正予算に上げさせていただいています設計業務を行いまして、来年の当初に向けて工事等全て予算要求して進めていくということで、学校トイレにつきましては一部和式を望まれる学校もございますので、学校のほうで求められています洋式化100パーセントを目指して、これから取り組んでいくことになろうかと思えます。

同じく体育館の空調につきましても、今4施設ということでしたけれども、今年度補正予算で上げさせていただいています分、体育館の空調の設計に取り掛かせていただきたいという状況でございます。予算の範囲内ということになるんですけど、4校程度で設計を始めさせていただきまして、こちらにつきましても県立学校施設の体育館の空調の実施100パーセントを目指してこれからやっていきたいと考えております。

岸本委員

こうした取組を加速するべく、横展開を図るべく市町村施設への支援、助成も検討すべきだと思うんですけども、そのあたりの御所見と、また、災害時の安心、快適な避難場所として活用するべく危機管理環境部と連携し、避難訓練なども活用して、県民の皆さんにも周知を図っていくべきだと思うんですけども、いかがでしょうか。

それと、可能であれば体育館などは一般の社会体育活動にも使っていってはどうかという点について、お答えいただけたらと思えます。

河野施設整備課長

県立学校施設の市町村への横展開等についての御質問を頂きました。

学校施設につきましては、災害時の避難所としての機能も持っておりますことから、県では県立学校施設の機能強化としてトイレの洋式化推進や、モデル校における体育館の空調整備を行っておるとするのは、先ほどお話しさせていただいたとおりです。

市町村においても、小中学校施設の整備促進につながるよう、県のこうした取組についての情報提供や技術支援はこれまで行ってまいりました。

また、市町村の小中学校施設の整備につきましては国庫補助の対象となっていることから、トイレの洋式化につきましては国庫補助率が3分の1、補助裏についても交付税措置という財源措置がされております。

さらに、体育館への空調新設工事につきましては、今年度に国庫補助の率が2分の1に

かさ上げされており、補助裏の交付税措置を合わせると実質、市町村の地方負担分は約4分の1という状況でございます。

これらのことにつきましては、先般8月に開催された知事、市町村長の会議においても御案内を出しております。今後とも、市町村に対して県立学校施設の空調設備で得られたノウハウなどの情報提供に努めるとともに、有利な補助制度に関する助言、技術的な支援を行いまして、市町村の取組の推進という形で進めてまいりたいと考えています。

避難訓練と社会体育施設という考え方になるんですけれども、避難訓練等におきましては、既に学校単位で取り組んでいただいているところもあるかと思っておりますけれども、非常に重要なことだと思いますので、それにつきましては、またことあるごとに学校のほうともそういう打合せ依頼をしながら進めてまいりたいと思います。

#### 岸本委員

こうした取組は、大変すばらしい取組だと思っております。また、未来ある若者たちは大いに期待しているところでもあるので、是非とも今後とも進めていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

#### 梶原委員

今、岸本委員から、学校施設のことについて出ましたけども、54パーセントというのはまだまだこれからかなと思っております。今回は、和式から洋式への変更っていうのが基本的な改修だと思うんですけど、既に洋式化されているトイレでもかなり汚れてたり破損してたりするトイレもあるということなんです。そういったトイレについての改修はどのように考えているのか、教えていただけますか。

#### 河野施設整備課長

洋式化済みのトイレの劣化とか損傷しているものについての取組ということで、御質問いただきました。

洋式化されているトイレにつきましても、長年使用していただいておりますことで、経年劣化が生じてくる状況にあります。

その中でも、水漏れとか緊急性と危険度が高いものにつきましては、適時その都度、修繕なり改修を行っていくこととしております。

現在、トイレの環境改善に向けて、各学校のトイレ状況調査を行っているところになります。その結果を踏まえまして、洋式化済みのトイレの中にも危険なものとか、実際使用に耐えないものがあるかもしれませんので、そちらのほうにつきましても適切に対応してまいりたいと考えております。

#### 梶原委員

分かりました。各学校でアンケート調査をしていただいているということですので、これについても、またしっかり取り組んでいただければと思います。

6月議会でも私からお伝えさせていただいたんですが、ある学校の生徒さんが、トイレが非常に汚くて清潔じゃないので、我慢してわざわざ商業施設で用を足しているといった

お話も聞きまして、私も経年劣化したトイレを何箇所か見せていただいたこともあるんです。和式から洋式への変更も大事なんですけど、こういった改修も大事だと思いますので、よろしく願いいたします。

それと、先ほども空調設備のことが出ましたけれども、4施設に設置済みだということですが、この4施設の場所はどこになりますか。

河野施設整備課長

現在、体育館の空調設備を設置済みの4施設について、御質問いただきました。

この4施設につきましては、令和2年度、3年度あたりに完成しましたモデル校の取組がございまして、その中で付いてますのが鳴門渦潮高校と視覚聴覚支援学校、徳島中央高校です。それと、小さな体育館になるんですけど、以前から付いていたところで鴨島支援学校があります。この4施設になります。

梶原委員

分かりました。先ほど聞き逃したかも分からないんですが、今回、新たに整備されるのは何校ですか。

河野施設整備課長

今回の取組につきましては、全ての県立学校の体育館ということなんですけど、最初に9月補正予算で上げさせていただいてるものにつきましては設計で、予算の範囲内ということになるんですが、4校程度の設計ができるのではないかと考えております。

それに続きまして、あと残る県立学校につきましても順次進めていくために、今回の4校の設計の成果なりその方式等を検討に加えながら、また次の学校の整備に生かしていきたいと考えております。

夏場の熱中症対策が喫緊の課題になりますので、可能な限り早急に全ての県立学校体育館に空調が整備できますように取組を進めてまいりたいと考えております。

梶原委員

分かりました。その4校というのはもう決まってるんでしょうか。

河野施設整備課長

今年度取り組む4校につきましては、特別支援学校を中心に選んでいきたいと考えておりますけれども、具体的なところまでは決まっておりません。

梶原委員

支援学校を中心にとということですね。分かりました。

私ども公明党も、体育館のエアコン設備については、以前おられた長尾県議会議員の時代からずっと進めてきたところなんですけれども、中央高校とか鳴門渦潮高校につきましてはGHP、ガスヒートポンプシステムでガスを使っている。これは非常に災害に強いと聞いてるんですけども、電気は電気で利点もあると思います。

ちなみに、今まで設置されてる4校については、ガスと電気どちらなんですか。

#### 河野施設整備課長

現在、設置してます4校の空調の方式について御質問いただきました。

先ほどお話がございました鳴門渦潮高校、視覚聴覚支援学校、徳島中央高校につきましては、ガスを利用しましたGHPを採用しております。以前からの鴨島支援学校については、電気式の空調になります。

#### 梶原委員

一番いい方式で取り組んでいただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。避難所施設は非常に大事なところだと思いますので、よろしくお願ひいたします。

次に、今回の新規事業で、生徒まんなか徳島版探究活動の深化ということで738万円でうちの学校ええんじょ♡プロジェクトが上げられておりますけれども、この詳しい内容と、県外、国外の生徒との交流を進めていくというお話なんですが、どのような活動をするのか、具体的に教えていただければと思います。

#### 酒井学校教育課長

うちの学校ええんじょ♡プロジェクトの詳しい内容についての御質問がありました。

まず、背景から申し上げますと、自ら課題を設定して解決策を探る探究のプロセスを意識した学習活動の充実は、予測困難な時代を力強く生き抜く力の育成を支援するために重要であると認識しております。

その趣旨の下、令和4年度からスタートした高等学校学習指導要領では、小中学校での取組を基盤とし、身に付けた見方、考え方を働かせながら、自ら問いを見いだし、探究する力を育成することが求められております。

これまで県内高等学校等では生徒の興味、関心等に応じ、その生徒ならではの課題設定等の探究のプロセスに取り組み、例えばスーパーサイエンスハイスクールである脇町高校では、にし阿波の傾斜地農耕システムの科学的検証でありますとか、阿南支援学校におきましては、NPOと連携した放置竹林有効活用の取組など、生徒の行動する力、課題設定力、協働力が向上し、地域からも若者ならではのアイデアが地域の活性化につながると評価されているところです。

一方、学校現場からは、もっと主体的に取り組ませたい、体験的に学ばせたい等の課題やニーズが挙げられているところです。

そこで今回、教育委員会では、高校生等が全国的なイベント等に参加して、産官学等の幅広い主体や国内外の高校等と連携し、連携が可能な協力者とのつながりを構築することを支援していきたいと考えております。

このイベントにつきましては、県外のものにつきましては、首都圏で行われますSDGsを題材とした全国的な企業とか大学等あるいは高校が集まるようなイベントを想定しております。また国外との交流という意味で言いますと、外務省と徳島県で共催するイベントへの高校生の参加、そしてネットワークづくりをやってほしいということも想定しております。



あわせまして、本県高等学校の探究活動における多様な特色ある取組についてまとめたガイドマップを作成し、その普及、横展開のため、イベント参加校の成果を発信して探究のプロセスを意識した学習活動の更なる充実を図ってまいりたいと考えております。

梶原委員

国内外とあるんですけど、国外とはどういうものですか。

酒井学校教育課長

国外につきましては、徳島県と外務省が共催するイベントがありまして、そこで徳島の魅力、物産ですとかをPRするような場があります。ここに高校生も参加して、高校における取組等を発表していく場にしたいと考えております。

梶原委員

そうしたら、こういった取組はエシカル甲子園でやられてますけど、この首都圏のイベントというのは何かそういう形になるんですか。持ち寄って優秀賞を決めるとか。

酒井学校教育課長

首都圏のイベントで今想定しておりますのは、大きな展示場みたいところで、各企業ですとか大学とか高校がブースを設けまして、パネル展示ですとか成果の発表をするところになります。商談のイベントのようなものなんですけれども、こちらに徳島県のブースを出しまして、その一部で高校生が参加しまして、取組の成果を発表して、また、国内がメインになるとは思いますけれども、ほかの産官学がどんな取組をしているのかっていうのを見聞きした上で、また学校に持ち帰って探究の糧にしてもらおうと、そのようなことを考えております。

梶原委員

分かりました。非常にいい取組だと思いますので、頑張ってくださいと思います。

こういった探究活動の取組とか、非常に素晴らしいことをやられてると思うんですけど、やってることとか成果を余り御存じでない県民の方が多いです。ですので、周知の仕方を工夫されて、もっと幅広く県民の方に知っていただければと思うんですけど、その辺は今後どのように取り組んでいけますか。

酒井学校教育課長

成果の普及についてのお尋ねですけれども、委員のおっしゃるとおり、こうした探究活動の取組や成果を県内外に積極的に発信していくことは重要であると考えております。

県教育委員会では今年度、徳島県教育委員会公式SNSを開設しており、各県立学校や県教育委員会での取組の発信に努めているところです。

探究活動の取組につきましても、このSNSを活用して発信するとともに、これまでも各学校においてSNSを開設しているところもありますので、各学校へも積極的に働き掛けまして、発信していただきたいと考えております。

また、先ほど申し上げました各県内高等学校等の探究活動におけるガイドマップも作成していきたいと考えておりますので、こういうものを使いまして、各県立学校間での共有も含めまして、また県民の皆様、県外の教育関係者の皆様にも幅広く発信していきたいと考えております。

#### 梶原委員

分かりました。この取組でできた商品でありますとか、また研究の成果を、是非産業界とかに生かして、これは高校生が編み出したんだよっていうものが具体的な形でできるんだったら高校生の方も非常にやりがいが出ますし、ずっと続いていく取組になると思いますので、どうか頑張ってくださいと思います。

最後に、これも新しい事業でGlobal×Challengeプロジェクトということで、徳島と世界をつなぐグローバル人材の育成ということで出ておりますけれども、これは小学校3年生から6年生が対象ですが、詳しい内容と小学校4校というのはどちらになるのか、また、今後のスケジュールについて教えてください。

#### 酒井学校教育課長

Global×Challengeプロジェクトの詳しい内容についてのお尋ねがありました。

まず、小学校3年生から6年生対象のHello to the Worldの事業について、こちらは小学校4校、1校当たり10名程度と考えておりますけれども、本県在住の留学生を小学校に派遣しまして小学生数名と留学生との小グループ活動での英語でのやり取りを行いたいと考えております。

話すテーマにつきましては、小学生は学校や徳島、日本の魅力について、留学生は自国の自然や文化、学校生活などについてを想定しております。

また、プログラムの後には、その留学生に対して小学生から感想を送るなどしまして、その後の交流にもつなげたいと考えております。

4校につきましてはですが、派遣先の小学校については公募を考えておりまして、これから公募を掛けたいと思っております。応募過多の場合は、地域性や国際交流の実績等を考慮して調整をしていきたいと考えております。

スケジュールにつきましては、予算をお認めいただきましたら、10月中旬に実施校を公募、下旬には実施校を決定いたしまして、行事の実施は11月からと考えております。

#### 梶原委員

分かりました。

それと、高校生対象の育成事業もされるようですけれども、高校生30名はどのような形で選ばれるのでしょうか。

#### 酒井学校教育課長

高校生対象の事業についてのお尋ねがありました。

この対象30名につきましても公募としたいと考えております。生徒に応募書類を作って

もらいまして、参加の動機、英語力、学年などを基に選考していきたいと考えております。

#### 梶原委員

分かりました。今回の徳島教育大綱の改定でも、個性と国際性に富んだ育成方針、基本方針ということで出ております。この二つのGlobal×Challengeの取組につきましても、基本方針にかなった非常にいい取組だと思います。多くの生徒、児童が参加できるようにいろいろ工夫していただいて、頑張っていたいただきたいと思いますので、よろしく願います。

#### 達田委員

詳しくお聞きになった内容ですけれども、県立学校施設の機能強化でトイレ整備の先ほどの御答弁で、私の聞き間違いかも知れないんですけれども、この予算で洋式化率100パーセントが終わるという意味なのか、それとも100パーセントに向けて進めていきますよとおっしゃったのか、そこが聞き取りにくかったので、もう一回お願いいたします。

#### 河野施設整備課長

失礼しました。今回の予算で学校のトイレの洋式率が100パーセントになるのかという御質問を頂きました。

今回、補正予算で要求させていただいてます予算につきましては、設計の費用になります。この設計を進めて、次に、また工事の予算をお認めいただいて、それから工事に掛かっていくことになりますので、今回の予算で工事が全て終わるということではございません。

#### 達田委員

これから100パーセントに向けて進めていきますよということですね。

私、前任期のときに、コロナ対策としてトイレの洋式化と手洗いの自動水栓化ということでお尋ねしたんです。清潔なトイレ、手洗いが大事だということでお尋ねしたんですけれども、しっかりと取り組んでいきますとお答えになって、今順次進めておられると思うんです。コロナだけじゃなくてインフルエンザ等の感染症が次々とはやってくる中で、トイレや手洗いの清潔な整備が非常に求められていると思うんです。スピード感を持って早く整備することが大事だと思うんですけれども、中には和式のほうがいいという方もいらっしゃると思いますので、和式も残してということになると思うんですが、全ての学校に洋式のトイレが設置できますよ、100パーセントになりますよというのは何年度を目標にされとんでしょうか。

#### 河野施設整備課長

和式等一部必要に応じて残すところを除いて、トイレの洋式化100パーセントになる目標の年度について、御質問いただいております。

こちらにつきましては、今回、まず設計をして、それから工事ということになりますの

で、明確に今の時点で何年ってというのが少し言いにくい部分があるんですけども、令和8年度をめどに掛かってまいりたいと考えております。

達田委員

今、外壁などの見た目をきれいにしましょうということで改修している学校もございます。

そういうときに、トイレや手洗いを整備しているとありますけれども、長寿命化の工事に併せてやっておりますと、いつまで掛かるか分からんというのがあると思うので、今おっしゃったようにスピード感を持ってやっていただきたいと思うんです。

トイレだけ、あるいはトイレと手洗いだけを先にやることにしましたら、もっと早くできるんじゃないかなと私は思うんですけども、それはどうなんでしょうか。

河野施設整備課長

トイレの洋式化等につきましての工事の期間について、御質問いただきました。

トイレの洋式化につきましては、学校がたくさんございます。それと、設計をして工事という順番になってまいりますので、早急に仕上げていかななくてはいけないとは考えておりますけれども、今の時点では先ほど申し上げたようなスケジュールで考えております。

達田委員

今、この必要性ってというのが、感染症対策としての整備が一番大きい目的になってると思います。早急にスピードを上げてやっていただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。

もう1点の手洗いを自動水栓についてというのは、どこまで進んでるのでしょうか。

河野施設整備課長

学校の手洗いの自動水栓化について御質問いただいております。

学校の手洗いの自動水栓につきましては、令和3年2月補正予算等を頂きながらこれまで進めてきたところです。

また、先ほど長寿命化というお話がございましたけれども、長寿命化に併せても進めてまいっております。令和3年2月補正予算の時点ということで少し古いんですけども、どの程度進んでいるかにつきましては、特別支援学校につきましてはその時点で設置率が38.2パーセント、県立の高等学校、中学校につきましては、その時点で設置率が71.9パーセントとなっております。

達田委員

手洗いは大変大事なことです。是非これも早く進めていただいて100パーセントになるようお願いしたいと思います。

トイレと言いますと、例えば女子トイレなんかは非常に洋式化が望まれております。トイレを整備すると同時に、誰にでも優しいトイレということで生理用品をトイレに設置することも望まれているんですけども、それは今どんな状況なんでしょうか。

鳴川体育健康安全課長

達田委員から、生理用品の設置についての御質問を頂戴いたしました。

現在のところ、学校のほうで調査をしております、もうすぐ調査がまとまりますので、まとまりましたらお知らせします。

達田委員

順次されていくということ、既にしているということですか。

（「現在調査しております取りまとめをしている状況でございます」と言う者あり）  
ありがとうございます。今、トイレにしろ手洗いにしろ、人に優しいことが望まれていると思いますので、使いやすいトイレ、優しいトイレということで是非よろしく願いいたします。

それともう1点、環境整備で言えば、空調設備を順次付けていきますよということなんですけれども、一般の方が体育館でこの空調設備を使った場合に、使用料などはどうなるのでしょうか。

河野施設整備課長

体育館の空調を設置した場合の、一般の方の使用について御質問いただいております。

一般の方が体育館を使用することにつきましては、各学校で使用許可を出してという形になっております。そのときに施設の使用料としては恐らく発生してないのではないかと思います。電気代とかそこら辺のものが発生してるかどうかは、今持ち合わせているものがございません。電気とかの費用が掛かりますので、それと同様の形になってこようかと思うんですが、申し訳ありませんが、今の時点では持ち合わせておりません。

達田委員

学校施設が地域の方々にも開かれた施設であるようにと望んでるんですけれども、何か体育をやるときに、この暑い夏、空調があるところがいいよなっていうことで、涼しいところでしたっていうのがあると思います。

しかし、涼しかったら涼しいだけお金を払わないかんということで、また使いにくくなってしまいます。今、学校の施設が地域に開かれる教室あるいは体育館というようなことで取り上げられておりますけれども、徳島県の学校施設も地域に開かれた学校になって、そして地域の皆さんが本当に使いやすい施設であるように、是非進めていただきたいと思いますので、要望しておきたいと思います。

それと、もう1項目なんですけれども、小学生、高校生対象ということなんです。選ばれた学校あるいは選ばれた高校生ということで、グローバル人材の育成って、本当に今大事だと思うんです。私は英語が非常に不得意でちんぷんかんぷんなんですけれども、嫌でもきちんと学んでおかなければ時代に遅れてしまうという時代になってると思います。

ですから、選ばれた学校とか選ばれた学生じゃなくて、全体の学力を上げていくためにどのような取組をされるのか、お尋ねしておきたいと思います。

### 酒井学校教育課長

今、英語の学力、そして、特に全ての子供たちに対してどういう教育をしていくかという事のお尋ねがありました。

委員のおっしゃるとおり、英語の語学力を義務教育それから高校段階において培っていくことは、全ての子供にとって大事だと考えております。本県では学習指導要領にのっとりまして、読む書く聞く話すという4技能ありますけれども、こちらの調和が取れた指導を行っていくことを考えておりまして、そのために教員の研修ですとか、あるいは4技能のスキルを図るテストの実施ですとかを計画的に実施しているところです。

これからも授業の中で全ての子供たちに対して、どのように英語力を付けていくかが課題になってくると思いますが、研修の充実ですとか、あるいはテスト等、それから指導のPDCAサイクルですとか、そういうものを検討していきまして、各学校に普及していくようなことを考えていきたいと思っております。

この基礎学力が付いた上で、こういう国際交流の取組に参加していきたいと思えるような子供たちが増えるように、取組を進めていきたいと考えております。

### 達田委員

高校生の場合でしたら30名ということで、恐らく応募されるんだと思うんです。英語が好き、英語が得意っていう人は応募されると思うんですけれども、得意じゃない人は応募しないと思うんです。

でも、そうじゃなくて、不得意、余り好きじゃないという人が好きになってくれるような事業を進めていくのがすごく大事だと思うんです。勉強ってどんなきっかけで好きになるかは人それぞれですけれども、優秀な人が集まるからこの取組そのものはすばらしいものになると私は思います。けども本当にクラス全員がみんなと一緒に英語が良くなった、向上していったっていう取組を是非工夫していただいて、徳島県の教育、本当に英語教育に力を入れてやってるよっていうのを示していただけるように、お願いして終わります。

### 大塚委員

学校のトイレの洋式化それから体育館の空調設備について、両方ともお金があればすぐにでも全部やっていただきたいんですけど、優先順位とかお考えになってるところ、基本になるものがあるんでしょうか。

### 河野施設整備課長

学校施設のトイレの洋式化と空調の設置の優先順位について御質問いただいております。

先ほど設計につきまして、今回、支援学校を中心にとお話しさせていただきましたけれども、体温調節が困難な児童生徒もおいでますので、まず基本的には空調は支援学校を中心に進めてまいりたいと考えております。

トイレの洋式化につきましては、先ほども調査をさせていただいてるとお話しさせていただきましたんですけど、その状況を見ながら順次選んで着手していきたいと考えております。

す。

#### 大塚委員

それは非常に大事な要素だと思います。

もう1点、実は私、10年前、東日本大震災の1か月後に現地に行って、10日ぐらいおったんですけども、避難していた場所が体育館なんです。壊れなかった、津波被害を受けなかった学校の体育館にたくさんの方が、私が行った所では数百名の方が段ボールで仕切って生活されておられたんです。

津波につきましては、南海トラフの津波もいつ来るか分からないです。恐らく津波の被害を受ける地区で、例えば学校が津波の被害を受けない高台にあると、やはり避難場所になると思います。夏の暑いときにそういうことが起こったら、避難場所になる体育館の空調あるなしが非常に大きなポイントになりますし、それからもう1点、トイレの洋式化についても、やはり避難場所になる場所を是非、優先順位の高いところに持って行って、体育館は必ず避難場所として一番使われる場所です。是非それを考慮に入れて、優先順位を考えていただきたいと思いますが、御意見があればお願いします。

#### 河野施設整備課長

空調設備とトイレ洋式化について、優先順位で貴重な御意見を頂きました。

災害時に避難所になる、そのときに対応できるってということが非常に大切なことだと思います。御意見を頂きましたので、参考にさせていただきたいと思います。

#### 大塚委員

是非そういったことを考慮しながらやっていただきたいと思います。

それから、グローバル人材のことなんですけれども、昔は学力、成績の主になるのが数学力だった。今は何かと言いますと英語力なんです。その英語力も読み書きでなく会話力なんです。それが一番の学力を進めるポイントになるらしいんです。

徳島県は東大をはじめとする旧帝大への入学率というのは、今いいものだと私は思っていないんですけど、成績だけの問題じゃないんですが、これから国際化の社会に向けて英語力は、特に会話ができるということが非常に大事だと思うんです。そういう視点で、是非各学校ともやっていただきたいと思うんですが、それについてのお考えとか御意見がありましたらお願いします。

#### 酒井学校教育課長

大塚委員から英語の指導について御質問いただきました。

おっしゃるとおり、先ほど4技能と申し上げましたけれども、その中でも発信能力、書くこととそれから話すことが、特に最近、取り立てて指導をどうするかってということが話題になってるのかなと考えております。

本県としても、英語教育につきましては計画を作っておきまして、令和3年から5か年の計画で進めているところなんですけれども、そこの理念というか重点のところでも、発信能力がこれからの課題というか指導を進めていくべきではないか、重点化していくべき

ではないかということも掲げておりました、それに沿いまして学校訪問ですとか先生に対する各種の研修を行っております。

また、指導の参考となる資料の作成ですとか、今回の事業でもありますように、生きた英語に直接触れる機会を準備しているところです。こうしたことを総合的にやってまいりまして、4技能の調和の取れた、特に発信力に力を置いて教育を進めてまいりたいと考えております。

#### 大塚委員

自分の考えとかいろんなことを表現し、相手に伝えるという、日本人であれば日本語で済むんですけども、これから世界に自分の考え、それからコミュニケーションをやっていくには英語なんです。だから、英語力の重要性がだんだん上がってきていると思うんです。それに対する対策も進んできたんですけども、東南アジアにしてもほかの国にしても、ほかの国々と比べて自国語以外で英語を話せる方の割合が日本は本当に低いです。

とにかく英語で自分の考えとかあらゆることを表現できるという、教育も是非その視点にさせていただきたいとお願いいたしまして、質問を終わりたいと思います。

#### 立川委員

数値的なことを聞きたいので、今分からなければまた後で教えていただきたいんですけど、直接教育委員会の予算ではないんですが、危機管理環境部からヘルメットの購入支援制度の創設ということで、補助制度が今回補正予算に上がっているんです。高齢者及び高校生世代が対象となっております。

まず、今の県立高校の生徒数と、どれぐらいの生徒さんが自転車で通学されてるかっていうのを聞きたいです。あわせて、自転車通学をされてる方の直近の事故の件数も分かれば教えていただきたいのと、あと高校生の方のヘルメットの着用率を分かる範囲で結構です。教えてください。

#### 長谷体育健康安全課防災・健康食育推進幹

ただいま立川委員から、高校生の生徒数、また自転車通学の数という御質問を頂きました。

本年度、県内高校生はおよそ1万5,000人おりました、そのうち自転車通学をしている生徒は約1万人でございます。

それから、事故の件数はただいま本年度の数字を持ち合わせておりませんので、また改めて御報告させていただきます。それから高校生のヘルメット着用率ですが、県警による7月の調査では、約5.2パーセントであったかと認識しております。

#### 立川委員

ありがとうございます。また聞きたいこともあるんですが、付託のほうで聞かせていただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。

#### 元木委員長



ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と言う者あり）

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上で、教育委員会関係の調査を終わります。

これをもって、文教厚生委員会を閉会いたします。（14時02分）